

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	図書館運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法 かすみがうら市立図書館条例
			10	04	04	03			
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体	
	1 生涯学習						担当課係等	図書館	
③生涯学習施設の整備充実						図書館			
事業期間	継続（平成27年度～）								

## 現状把握の部（D0）

<b>【目的】</b> 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。	<b>【関連事業】</b> 蔵書整備事業
<b>【期待される効果】</b> 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	<b>【対象者】</b> 市民および近隣住民
<b>【全体概要】</b> 市民が心豊かな生活をおくるの一助として図書館を円滑かつ快適に活用できるよう、日常の図書の貸出し返却、図書の整理、各種情報の提供、ボランティアグループなど関係団体の活動支援など、図書館の適正な管理運営を推進する。	<b>【特記事項】</b> 26年10月に新たに導入した図書システムにより、貸出し業務が簡素化されたこと、また、それによりレファレンス業務が拡充されたため、貸出し冊数が増加傾向にある（28年度は27年度比較で若干減）
<b>【平成27年度 事業内容】</b> 図書の貸出、図書検索情報提供、各種ボランティア団体の活動支援、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	<b>【平成28年度 事業内容】</b> 図書の貸出、図書検索情報提供、各種ボランティア団体の活動支援、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座
<b>【平成29年度 事業内容】</b> 図書の貸出、図書検索情報提供、各種ボランティア団体の活動支援、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座	

## ■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	5,155	5,034	5,451
	歳入計（千円）	5,155	5,034	5,451
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 賃金	4,830	4,734	5,120
	08 報償費	216	213	214
	11 需用費	48	27	56
	12 役務費	16	15	16
	19 負担金、補助及び交付金	45	45	45
歳出計（千円）（A）	5,155	5,034	5,451	
（参考）	当初予算額	5,167	当初予算額	5,159
職員人工数	0.85	0.85	0.85	
職員人件費（B）	6,536	6,688	6,460	
総事業費（A）＋（B）	11,691	11,722	11,911	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	図書等蔵書数（本館、分館）		冊	目標		128,000.00	135,000.00	136,000.00
		ただ増やすだけでなく、不要図書リサイクルにも取り組み、借りやすい適正な蔵書数を目指す。			実績		134,824.00	136,235.00
				目標		0.00	0.00	0.00
				実績		0.00	0.00	0.00
成果指標	図書等貸出し冊数（本館、分館）		冊	目標		88,000.00	90,000.00	90,000.00
		※参考 26年度87,333冊			実績		93,585.00	91,920.00
	図書館入館者数（本館のみ）		人	目標		0.00	60,000.00	60,000.00
		※参考 26年度48,788人			実績		59,305.00	58,798.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 多くの市民が心豊かに生活していくためには必要
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 新図書システムの導入により図書館の貸し出し冊数や来館者数が増加傾向（28年度は27年度比較微減）にあるため、その効果をさらに徹底していく必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 代わるものがないため、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 学校図書との連携については、現在は学校が本を取りに来る場合のみ団体貸出しをしている。本来は学校がネットで注文→図書館が配達というのが理想だが、現在の職員数では対応できない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 正職員が最少人数であるため、実際の図書の貸し出しや案内業務は臨時職員が、また、蔵書の整理や読み聞かせ、ブックスタート事業などはボランティアが担っており、人件費の削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 霞ヶ浦地区、下稲吉地区に加え、千代田地区の貸し出し冊数が少ないことから、28年度に図書館千代田分館の環境改善に取り組んだ。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	新図書システムの更なる有効活用を目指す。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：生涯学習課長 中泉栄一 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 利用者が図書館職員の手を借りなくても自ら気軽に借りられる新図書館システム（自動貸出機）の利用を更に促進し、貸出し業務時間の短縮に努め、その短縮分を図書館司書がきめの細かいレファレンスサービス業務に充てる時間とする。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：飯田泰寛 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 誰もが利用しやすい図書館サービスの提供に努めてください。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	蔵書整備事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法 かすみがうら市図書館条例
			10	04	04	05			
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体	
	1 生涯学習						担当課係等	図書館	
③生涯学習施設の整備充実						図書館			
事業期間	継続（平成27年度～）								

## 現状把握の部（D0）

<b>【目的】</b> 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。	<b>【関連事業】</b> 図書館運営事業
<b>【期待される効果】</b> 市民が読書等を通して心豊かな生活をおくることができる。	<b>【対象者】</b> 市民および近隣住民
<b>【全体概要】</b> 市民の知る権利を充たし、地域及び住民ニーズに応じた情報提供を行うため、図書館本館及び分館に優良な図書・雑誌及び視聴覚資料を年次的に整備していくとともに、予約・検索システムを活用し利用者の利便性を図る。	<b>【特記事項】</b>
<b>【平成27年度 事業内容】</b>	<b>【平成28年度 事業内容】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不要図書の除籍、リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不要図書の除籍、リサイクル</li> </ul>
<b>【平成29年度 事業内容】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書・視聴覚資料の購入</li> <li>・蔵書点検作業</li> <li>・不要図書の除籍、リサイクル</li> </ul>

## ■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	5,485	5,460	5,462
歳入計（千円）		5,485	5,460	5,462
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 備品購入費	5,485	5,460	5,462
歳出計（千円）（A）		5,485	5,460	5,462
（参考）		当初予算額 5,485	当初予算額 5,462	伸び率(%) 決 0.03 予 0.00
職員人工数		1.05	1.05	1.05
職員人件費（B）		8,074	8,262	7,980
総事業費（A）＋（B）		13,559	13,722	13,442

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動	指標	図書蔵書数（本館、分館）		冊	目標	128,000.00	135,000.00	136,000.00
		ただ増やすだけでなく、不要図書リサイクルにも取り組み、借りやすい蔵書数を目指す。			実績	134,824.00	136,235.00	0.00
	指標	蔵書点検回数（本館、分館）		回	目標	0.00	18.00	18.00
		利用者が借りやすい図書館を目指し、本館月1回に加え、27年度から分館でも2か月に1回実施。			実績	18.00	18.00	0.00
成果	指標	図書貸出冊数（本館、分館）		冊	目標	88,000.00	90,000.00	90,000.00
		年間の図書・視聴覚資料貸出冊数			実績	93,585.00	91,920.00	0.00
	指標	不要図書のリサイクル冊数（本館、分館）		冊	目標	0.00	2,000.00	3,000.00
		28年度から新たな指標に設定。生涯学習フェアの際等に希望者に不要図書を配布。			実績	2,335.00	2,229.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 多くの市民が心豊かに生活していくためには必要
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 新図書システムの導入により図書の貸出し冊数屋入館者数が増加傾向（ただし、28年度は27年度比較微減）にあるため、その効果を更に徹底していく必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 代わるものがないため、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 学校図書との連携については、現在は学校が本が取りに来る場合のみ団体貸出しをしている。本来は学校がネットで注文→図書館が配達というのが理想だが、現在の職員数では対応できない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 事業費の削減は即、図書館の命というべき図書購入費に影響があり、事業費の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 世代を越えた、利用者が多く、図書を借りている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	限られた予算（図書購入費）で回転率の高い図書の購入を心掛ける。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策））  <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）            記者：生涯学習課長 中泉栄一</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）            実際に利用者と接している臨時職員（図書館司書）の意見を取り入れるなど、稼働率の高い図書の購入を心掛ける。また、借りやすい図書館の観点から、27年度から不要図書のリサイクル（適正な蔵書数を指すため）、28年度は千代田分館の環境改善（レイアウトの変更、LEDの導入など）にも取り組んだが、引き続き、新刊を購入しながらの不要図書のリサイクル、処分にも積極的に取り組む。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策））  <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）            記者：飯田泰寛</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）            レファレンスサービスの充実や図書館ネットワークの活用にも努めてください。</p>		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度									
事務事業名	ブックスタート事業（政策）						事業類型	広報・啓発		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし	
			10	04	04	07				政策経費
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり						総合計画対象	対象		
	(1) 次世代の育成支援						市民協働	行政主体		
	1 児童福祉						担当課係等	図書館		
①教育・保育サービスの充実						図書館				
事業期間	継続（平成27年度～）									

## 現状把握の部（D0）

<b>【目的】</b> 子育て支援の一環として、生後4ヶ月児及びその保護者を対象に、赤ちゃん絵本を介して心のきっかけづくりをする。	<b>【関連事業】</b> 母子保健事業	
<b>【期待される効果】</b> 子育て支援と新しい図書館ファンの開拓	<b>【対象者】</b> 市内在住4ヶ月児の保護者	
<b>【全体概要】</b> 子育て支援の一環として、生後4ヶ月児健診時に赤ちゃん絵本を介して心のきっかけづくりを行い、ボランティア団体の協力を得て、本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をバックにして手渡す。	<b>【特記事項】</b> 保健センターの日程に併せて、事業を展開している。無償ボランティアのサポートが重要である。	
<b>【平成27年度 事業内容】</b> 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	<b>【平成28年度 事業内容】</b> 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	<b>【平成29年度 事業内容】</b> 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布

## ■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	337	341	342
	歳入計（千円）	337	341	342
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	337	341	342
歳出計（千円）（A）	337	341	342	
（参考）	当初予算額	337	当初予算額	342
職員人工数	0.20	0.20	0.20	
職員人件費（B）	1,538	1,574	1,520	
総事業費（A）＋（B）	1,875	1,915	1,862	

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	ブックスタート実施回数	回	目標	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	ブックスタートバック受取人数	人	目標	330.00	330.00	0.00
	※配付先は4か月検診親子であり、ブックスタートバックを受け取るのを主にしているわけではないので、29年度から指標を下に変更。		実績	278.00	276.00	0.00
	4か月検診参加親子でブックスタートバックを受け取った割合	%	目標	0.00	0.00	100.00
	参考 27年度100% (278/278) 28年度100% (276/276)		実績	100.00	100.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 子育て支援の一環として、かつ、新しい図書館ファン層の開拓のため
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 対象者が限定されているため
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> ブックスタート事業は保護者に定着しており、事業を廃止することはサービスの低下ととられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 現在も、保健センター、子ども未来室との連携で事業を実施している。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 現在は地域民生委員及び読書ボランティアに無償でお手伝いをお願いしている状況で、逆にそれ相当分の報酬が必要と思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 対象者は4か月検診児童及び保護者全員であるため。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	絵本配付後も図書館に来館してもらえよう絵本と一緒に図書カード申込書を配付しているが、図書館定着のための更なる策を検討していく必要がある。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (見直し) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 新しい図書館ファンの開拓の意味でも、市民ボランティアの手を借りて、今まで通りブックスタート事業に取り組んでいく。その後の図書館定着のため、図書館読み聞かせ会のチラシ配付など、情報提供にも努めること。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 飯田泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (見直し) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 読み聞かせボランティアの養成に努め、全ての赤ちゃんと保護者に楽しい読書体験をさせてください。近年再結成された高校生会の事業に組み入れることも検討してください。		